

清流の国ぎふ 防災・減災センター

平成28年度 げんさい未来塾 活動報告書



げんさい未来塾 入塾式（平成28年5月18日）



げんさい未来塾

概要

清流の国ぎふ 防災・減災センターは一般向けに「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」を開講し、防災に関する専門的知識を習得し、将来、地域の防災リーダーとして活躍することが期待できる人材の育成に努めています。

「げんさい未来塾」は「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」のステップアップ研修的な位置づけとなっており、実際に地域で活動している、しようとしている人向けの講座と位置づけています。原則として塾生1名につきスーパーバイザー1名が担当し、塾生の実践計画の遂行、スーパーバイザーによる指導助言（適時）、2種類のOJT型活動を通じて、幅広い知見と関係スキルを身につけることができます。OJT型活動では、当センター主催・共催・協力などの事業において、事前準備、ファシリテーター、講師補佐などとして活動します。また、スーパーバイザーの専門分野・得意分野においても個別に指導を受けることができます。

一年間の研修を通じて、主体的に防災・減災活動を計画・実践できる人材、地域の防災組織のリーダーになれる人材、防災組織同士の相互支援を担える人材、後進の育成（支援）を担える人材に必要な経験と知識の習得を目指します。その結果、未来塾修了後の活躍の場として、それぞれの居住地域（あるいは活動地域）におけるフィールド（職種など）に加えて、センター事業での協働やげんさい楽座スピノフの企画運営（予定）など、これまで以上に活動の範囲が広がり、活動内容の強化も期待できます。



平成28年度のスーパーバイザーには下記6名が就き、それぞれの専門性に基づいた指導を担当しました。

- ・東 善朗 一般社団法人Do It Yourself代表理事：塾生1名の指導担当
- ・岩井 慶次 恵那市防災研究会会長・地域防災ネット中部会長：塾生4名の指導担当
- ・栗田 暢之 特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事：全体の指導副担当
- ・西田 重成 防災士：塾生2名の指導担当
- ・村岡 治道 岐阜大学客員准教授：塾生1名の指導担当ならびに当塾プログラム全体の副担当
- ・小山 真紀 岐阜大学准教授：塾生1名の指導担当ならびに当塾プログラム全体の主担当

情報共有、交流の場



・Facebookやtwitterによる情報発信と交流

 <https://www.facebook.com/gifu.bousai.gensai/>  <https://twitter.com/gfbosai>

- ・清流の国ぎふ 防災・減災センターメールニュースの運用
- ・防災リーダーメーリングリストの運用による情報発信と交流
- ・げんさい未来塾メーリングリストの運用による情報発信と交流
- ・防災リーダー育成講座（基礎編）修了者の、サポーター参加によるOJT
- ・げんさい楽座における、参加者の活動紹介機会の提供

活動の様子



OJT型活動で研修する塾生:伊藤 定巳氏



OJT型活動で研修する塾生:伊藤 三枝子氏



OJT型活動で研修する塾生:岩茸 伸一氏



熊本地震の仮設住宅視察時の様子(御船町にて)

活動報告 01

防災活動の基軸は「自助推進」 防災チームの育成&維持



羽島須賀自主防災会代表
羽島防災ネットワークチーム
「シェイクハンド」代表
井手 行信
(羽島市)



自助ありきの共助・自助
無くして共助無し

活動記録

- 1 羽島須賀自主防災会設立
自主開発(災害関心向上プログラム)
「防災自助コンサルティング」訓練開催(2回)
- 2 指定緊急避難場所等の災害時活用法
(通称:コミュニティー・ビレッジ構想)
自主開発(自治会主導の自助・共助システム)訓練実施(3回)
- 3 災害想定型夜間安否確認訓練実施
- 4 平成28年度羽島市主催
「防災コーディネーターフォローアップ研修会」
プランニング&アドバイス(講師)
- 5 他自治会との防災活動連携を推進(現在3自治会との締結)
- 6 羽島防災ネットワークチーム「シェイクハンド」設立
月定例会(10回)&外部団体視察(3回)&勉強会(7回)

成果

防災活動を行う際に、最も重要視しているポイントは【～命を守る行動～】、すなわち防災の基本とも言える「自助」だと考えます。

その視点を重視し、住民の皆さんから「自助が大切!」と自覚して戴く企画訓練として「防災自助コンサルティング」を開催し、災害対応への取り組みを始めた世帯が訓練参加世帯の50%以上となる成果を得ました。

また地域密着型訓練(自治会レベル)では、災害想定訓練災並び講演会に取り組み、防災関係者はじめ地域住民の関心度が高まったことに加えて、自治会からは更なる取り組みを期待されるに至りました。

詳細につきましては、「羽島須賀自主防災会」または、羽島防災ネットワークチーム「シェイクハンド」の公式HPをご覧ください。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

防災に対する想いを共感できる仲間を探す事です。

既成概念を打破する位の確固たるポリシーの先に、防災の未来はあります。

担当スーパーバイザー:村岡

地区への避難所運営組織の導入



活動記録

- 平成28年
- 4月23日 避難所運営組織の導入説明会
 - 7月 3日 海津市海西地区 HUG 研修
 - 8月20日 避難所運営マニュアル説明会
 - 10月29日 避難所（海津市立海西小学校）施設・備蓄資機材の確認
 - 11月10日 海津市海西地区避難所運営についての協議会
 - 11月29日 海津市海西地区避難所運営についての協議会
- 平成29年
- 1月22日 海津市海西地区避難所開設・運営訓練（役員）
- 今後の予定
- 2月23日 防災訓練企画会議
 - 3月 9日 防災訓練企画会議
- 平成29年
- 6月11日(日) 海津市海西地区防災訓練（住民参加）

成果

いつ発生するかもしれない災害に対し、まずは発災直後から3日間・72時間の混乱期において、避難所を開設するなど住民自らが、率先して行わなければならないことがあります。

また、大規模災害時には行政が機能不全に陥ります。命の助かった被災者が避難生活の中で災害関連死とならないように、住民主体による避難所運営委員会が、避難所の開設・運営ができるよう地域防災力の向上を目的に、モデル地区への導入に取り組んでいるところです。

未来塾では、スーパーバイザー・コーディネーターの先生からご指導をいただいたほか、げんさい楽座などを通じて地域で活動する方からいろいろなご意見を頂きました。市民目線の防災について、大変参考になり、今後の活動に大いに役立てていきたいと考えています。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

防災・減災の活動は幅広いです。いろいろな活動をしている方との出会いで、見えてくるものもあります。

担当スーパーバイザー：岩井



海津市役所危機管理課長
伊藤 定巳
(海津市)

女性の立場から考える防災を届ける



活動記録

- ・ 避難所における女性(弱者)の立場が改善される事に繋がるような HUG カードの作成
- ・ 幼保園児や同居する大人の人も災害から命を守ることを考えるような紙芝居の作成
- ・ 災害時の食を考えるカード作成
- ・ 持ち出しと備蓄の違いを知る、持ち出しシート作成
- ・ 上記 HUG・持ち出し袋・災害時食事カード・他 DIG・家庭で取り組む防災の活動
(大垣市内22地区、1高等学校、3中学校、4小学校、6団体)
- ・ 上記紙芝居活動(2幼稚園・1団体・1地域)

成果

・ 入塾の志望動機：地域防災において女性の声を多く届ける、女性防災士の意識向上を図る活動をすること。

・ 課題：女性目線を取り入れた HUG カードを作成すること、どんな世代にも防災を伝えること。

・ 成果：防災の伝え方、配慮する事柄、考え方などを学びました。また、女性の立場で避難所運営上の問題点を明らかにし、それを取り入れた HUG を実施して啓発しました。防災紙芝居では自分で考える事や命の大切さを、子供たちだけでなく同居する大人にもわかりやすく伝えました。

・ 今後：女性目線の HUG カードや防災紙芝居、災害時食などは平時から命を守る防災を広め、防災意識向上のために有効であると考えます。女性防災士仲間と改善を重ねることで、よりよい防災を伝える事ができると思います。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

コーディネーターの活動を間近に見るという生きた勉強ができます。

OJT で提出するレポートは「まとめる力」を育ててくれ、結果的に自分の成長に繋がります。(清流の国®岐阜県 #0058)

担当スーパーバイザー：西田



清流の国ぎふ
女性防災士会 会長
伊藤 三枝子
(大垣市)

活動報告 04

豪雨災害の避難は早期に、避難場所は地域で決める



活動記録

- ・ 市主導の大規模訓練から、区単位の小規模訓練を30ヶ所で実施した
- ・ 土砂災害警戒、特別警戒箇所は1300箇所以上、市内は危険が一杯
- ・ 豪雨、土砂災害に特化した災害図上訓練（LET）を考案し指導
- ・ LET訓練で地域の脆弱部を発見して、早期避難を第一選択とする
- ・ 地域の避難場所、避難所を区独自で決定、指定に対し市も後押しを約束
- ・ 自主避難を希望する住民のため早期に避難所を開設して、防災ラジオで広報するように市の対応が変化した

成果

我市は豪雨による水害や土砂災害の危険性が非常に高い。しかし、中山間地域ということもあって地区によって降雨量が大きく異なり避難を促し難い状況にあった。

殆どの指定避難場所は災害警戒地域内にあり避難しても被災する可能性がある。今回、我々は災害の危険性を学んでもらい、対策として「避難するタイミングを学ぶ」（LET）を作成し早めの自主避難が最も有効な命を守る行動であることを楽しみながら学んでもらえるよう活動している。

同時に地域の住民が最も避難場所に適している場所を決定して、市も協力して指定を行うことを協力。

9月20日の豪雨では70か所以上で災害が発生したが多くの市民が早期避難したことで人的被害は無かった。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

他地区の活動を知ることにより自団体活動の活動を見直す事が出来る。他地区との意見交換を通して問題点をあぶり出すことが可能になる。他地区の防災団体との情報交換が可能となり、ネットワークを構築できる。



みずなみ防災会 代表
伊藤 道廣
(瑞浪市)

担当スーパーバイザー：岩井

活動報告 05

飛騨にもある活断層と地震災害から自分の命を守るために



活動記録

- ・ 熊本地震から見た活断層と飛騨の活断層の状況について
- ・ 被災した場合の我が家の状況はどうなるのか
- ・ 普段から行う自分の命を守るための対策と準備及び発災時の行動について（出来るだけ避難所より自宅で生活できるよう）
- ・ ライフライン回復と支援物資の充足までの対策について
- ・ 家庭内DIG及び家具固定研修の資器材作成

成果

昔から飛騨地区住民が持っている、災害に対する安全神話を払拭し、熊本の様な地震が発生する可能性が高いことを認識させ、その時どのような災害が発生するのか、そしてどのような被害に合うのかを認識する、その中で自分の命を守り、少しでも被害を軽減させることを考え、そのため普段から行う防災の対策と準備について家族と話し合い、家庭内の安全対策と備蓄品の備えを実行する。

現在各地域において地震災害の講演を行った中で、家庭内DIGや家具の固定方法の研修が行われ、命を守る大切さを自覚する市民が増えつつある。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

研修を受ける度に新しい発見があります。災害が発生するたびに避難に対する考え方が進化して行きます。新しい知識を皆で共有しましょう。



高山市民防災研究会
事務局長
岩茸 伸一
(高山市)

担当スーパーバイザー：岩井

地域でできる防災・減災活動のベスト実施マニュアル集の作成を通じて、実際の幼稚園、保育園、小学校、地域での活動の提案と協働を行うこと。



特定非営利活動法人
防災士なかつがわ会
理事

黒田 ところ

(中津川市)



活動の記録

- ・中津川市子育て支援センター6ヶ所で、就園前のお子さんをお持ちのお母さん対象の防災教室（基礎編）
- ・中津川市の小学校（加子母・阿木・山口・下野等）での防災教室
- ・市内学童保育所での防災教室
（坂本小学校地域の学童保育所では毎年開催6年目）
- ・地域子ども会（坂本東町、下野）の行事として防災教室開催
- ・高齢者サロン等（坂本12-4区、松田区）での防災紙芝居上演

成果

所属する団体で防災・減災意識を啓発する中で、多くの会員が利用できる防災教室等の実施マニュアル作成が必要となりました。一方、防災・減災の考え方、対応は、震災が起こる度にどんどん変化しており、最新情報の入手も必要でした。

これらの課題や問題意識に対して、げんさい未来塾では、県内に留まらず全国の防災・減災に関わる方々から、最先端の研究や情報に基づいた講座・講演会等参加することが出来ました。防災に関わる全国大会等に参加した時は、げんさい未来塾で学ぶ内容が、全国的にもひけをとらない素晴らしいものであることを実感しました。

おかげで、この一年、実施する防災教室等の内容も、確実に進化させることができました。また、その体験を持って内容のあるマニュアル作成をすることが出来ました。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

防災減災の活動や研究を最先端でされている先生方から学ぶ機会が沢山できます。

その中で、多くの方々と繋がるチャンスがいっぱいあります。特に塾生同士は、刺激しあいながら繋がりを深める事が出来ます。

担当スーパーバイザー：小山

地域の防災を育てる
防災エキスパートになるには！



大垣市消防団
特定非営利活動法人
防災支援ネットワーク

高木 淳一

(大垣市)



活動記録

- 1 大垣市防災リーダースキルアップ講座でのマネジメント・講師
- 2 輪之内町防災リーダー（防災士）養成講座でのマネジメント・講師
- 3 大垣市の各地区防災士会でのHUG・DIGの講師
- 4 大垣市社会福祉協議会防災士養成講座での講師
- 5 岐阜・西濃地方の小中学校での学校安全指導
- 6 大垣市内での防災出前講座（DIG・HUG・講話）
- 7 岐阜・西濃地区の小中学校等での防災指導
（小学校2校、中学校2校、特別支援学校1校）

成果

これまで、防災啓発活動を行ってきました。しかし、私が行ってきたDIGやHUGは、独りよがりになっているように感じます。色々なことを幅広く経験することで、理解を深め防災士としてレベルアップをして、地域防災力向上に寄与できれば良いと思志望をしました。このことを踏まえて、活動ができたと思います。

OJTを通じてコーディネーターが講師を行う会場の雰囲気や講座の進行状況を肌で感じる事ができ、参加者との交流にて、防災に対する考えを幅広く知ることができました。これらの経験は私が講座のマネジメントや講師を行う時に、大変役に立ちました。また、小中学校を訪問することで児童・生徒の時から防災と交わる事のお手伝いもできました。この一つ一つの事柄に未来塾での経験が活かされたと思います。

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

学と楽は、「がく」と読むことができます。この学（まなぶ）と楽（楽しい）の二つが防災・減災に通じると思います。

この防災・減災を志す仲間との出会いやネットワークが広がっていく事で身近な防災・減災になることを期待しています。

担当スーパーバイザー：西田

活動報告 08

我が町の災害を知る活動から！



活動記録

- ・かわべ防災の会の発起人メンバーとして発足準備に従事
- ・2016年にかわべ防災の会を立ち上げ。役員として活動中
- ・川辺町ふれ愛まつりにて、家具転倒防止の展示および、防災の広報活動を、かわべ防災の会として実施
- ・2011年より、アマチュア無線を使用した、災害時の県内の通信手段の確立に着手。岐阜県防災訓練にも参加
- ・アマチュア無線非常通信ボランティア団体Team7043統括補佐として活動中。熊本震災では、発災後直後よりアマチュア無線での対応および、物資の支援を実施。熊本災害地視察参加

成果

50年間ほど大きな災害が無い我が町において防災啓発の進め方を考えるために入塾を希望しました。また、ライフラインを失うような災害が発生した場合の通信手段の確保として、以前から活動をしている、アマチュア無線による通信の補完を岐阜県内でも確立出来るように、各市町村のアマチュア無線家と活動を継続的に行っていることもあり、アマチュア無線家として防災への取り組みを発展させることも狙いでした。地元の川辺町役場ではアマチュア無線用アンテナ、無線機が設置され、災害発生時には役場と各避難所との通信をアマチュア無線家が担当できるように協定を締結しました。また、新規にアマチュア無線の資格取得を希望する方たちへの、お手伝いも行っております。各地域の防災団体へ、無線の有効な活用方法のお手伝いも行っております。



かわべ防災の会
全国アマチュア無線
非常通信ボランティア団体
Team7043統括補佐

Team7043
SINCE 2011.03.31

平岡 守
(川辺町)

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

自分のスキルアップと共に、多くの人とのつながりを持つことが出来ます！

担当スーパーバイザー：岩井

活動報告 09

『ペット防災』を考える



活動記録

- ・『ペット飼育者の避難』に関する防災セミナーの講師として、自治会向け・飼い主向け・事業所向けにセミナーを開催
- ・地元の防災活動に防災士として参画し、羽島市竹鼻南地区(約2,000世帯)における避難所運営の課題、特にペット同行避難の受入れ可否や、受入れ時の実現課題を明らかにするため、全戸アンケート調査を実施
- ・地元の防災訓練にて、ペット同行避難の試行導入を実現(H29春)
- ・ペット関連事業者を対象に防災意識調査を実施
- ・NPOや同業者と連携し、避難所以外でペットの避難場所を提供する仕組みづくりに着手

成果

発災時には、ペットよりも人の安全確保が優先されるものの、現実にはペットの飼い主やペット自体が避難所に訪れ、様々な課題が発生する。

そこで、飼い主/地元地区/事業者の、3つのアプローチから、ペットに関する防災の進展を図った。①飼い主には、避難所での受入れや環境の困難さと平常時に可能な準備を伝え、自助への備えを促した。②地元地区では、飼い主に限らず、避難所に関する住民全体の意識を調査したことにより、ペットの問題が地区課題の一つとなった。次の防災訓練で同行避難の試行が実現するのは大きな成果である。③ペット関連事業所へのアンケートで、事業者がもしもに備える「きっかけ」をつくることができた。事業者の意識向上には、飼い主への啓発や行動促進が期待できる。



ペットホテル&グルーミング
セカンドハウス代表取締役
渡辺 英毅

(羽島市)

《メッセージ》げんさい未来塾の応募を検討している皆様へ

自分の地区でペットの防災対策をやりたくても何もしない状態でした。げんさい未来塾では、課題を地区で共有して対策をする具体的方法を学び、毎年地区防災訓練で「ペット同行避難」を試みる段階まで進める事ができました。今後の活動に活かせる人との繋がりがもてきました。

担当スーパーバイザー：東

平成28年度センター主催講座

※一般向け主要なもののみ抜粋

- ・げんさい未来塾生熊本現地研修(平成29年2月7～9日)
- ・災害図上訓練指導者養成講座(DIG:風水害編)6回
- ・災害図上訓練指導者養成講座(DIG:地震編)2回
- ・避難所運営指導者養成講座(HUG)6回
- ・げんさい楽座(第9～21回)月末(月曜日)開催

げんさい楽座開催実績一覧

回	開催日	テーマ・話題提供者	会場
9	2016年4月25日	熊本地震被害報告 能島暢呂 副センター長	岐阜大学サテライトキャンパス
10	2016年5月30日	げんさい未来塾生の実践計画発表 小山真紀准教授	岐阜大学サテライトキャンパス
11	2016年6月27日	風水害・土砂災害に対する避難行動 岩井慶次 コーディネーター	土岐市セラトピア
12	2016年7月25日	地球温暖化時代の防災・減災対策 吉野 純 准教授	岐阜大学サテライトキャンパス
13	2016年8月29日	9・12安八水害から40年 赤尾俊春氏(海津市防災士会副会長)	ソフトピアジャパン
14	2016年9月26日	震災を語り継ぐ 人見佐和子 助教	震災記念堂
15	2016年10月31日	下呂市防災士会発表会 栗田暢之 コーディネーター	下呂市交流会館
16	2016年11月28日	外国人の防災 NPO法人可児市国際交流協会・可児市防災会	可児市総合会館
17	2016年12月18日	地域防災力向上シンポジウム 高木朗義 教授 他	ソフトピアジャパン
18	2016年12月19日	全国自主防災組織リーダー研修会報告 げんさい未来塾生(伊藤、黒田)	岐阜大学サテライトキャンパス
19	2017年1月30日	東日本大震災におけるこころのケアについて 板倉憲政 助教	岐阜大学サテライトキャンパス
20	2017年2月27日	「げんさい未来塾」熊本地震研修報告	岐阜大学サテライトキャンパス
21	2017年3月27日	「げんさい未来塾」最終報告会	岐阜大学サテライトキャンパス

清流の国ぎふ
防災・減災センター
〒501-1193
岐阜市柳戸1-1
TEL 058-293-3890
FAX 058-293-3891
E-mail gfbosai@gifu-u.ac.jp



<https://www.facebook.com/gifu.bousai.gensai/>

<https://twitter.com/gfbosai>

<http://gfbosai.sakura.ne.jp/web/>